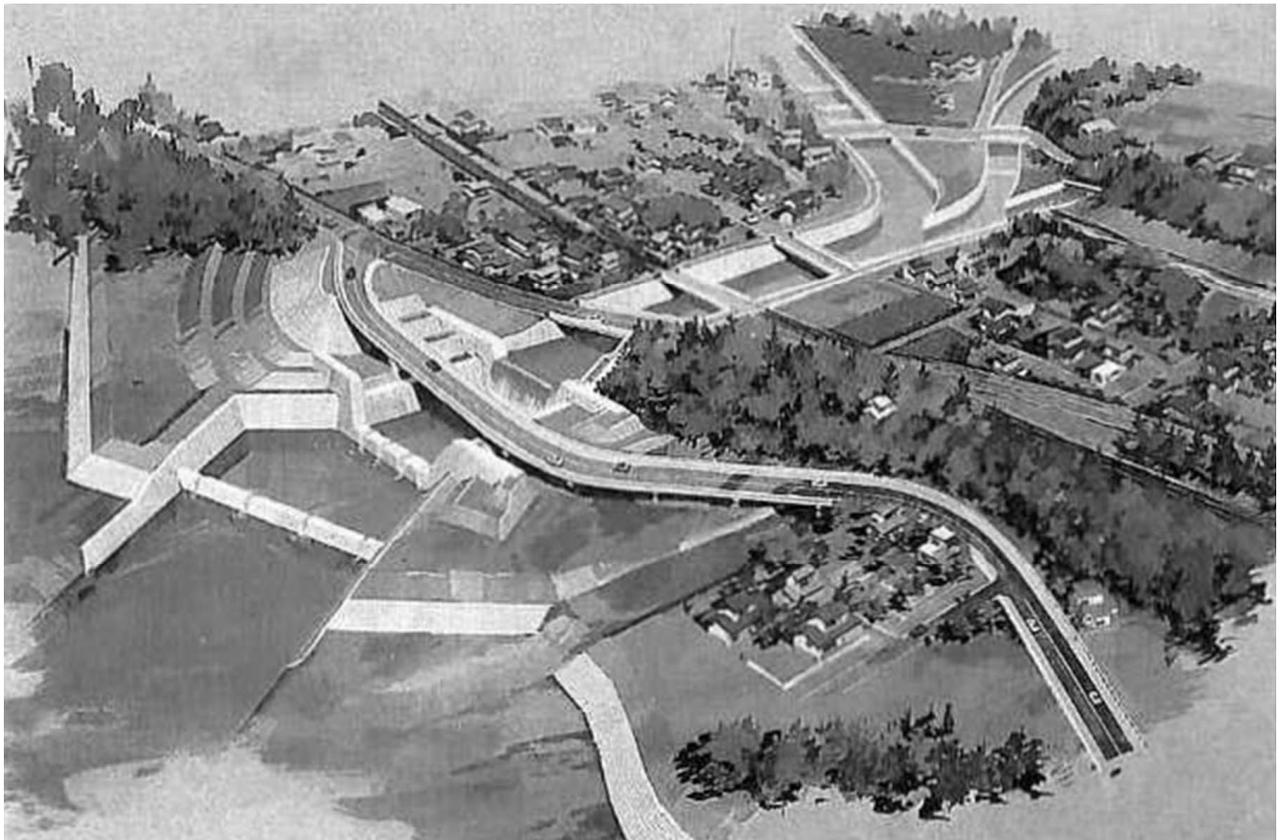


鳩川分水路の概要

鳩川分水路完成予想図

神奈川県相模原市



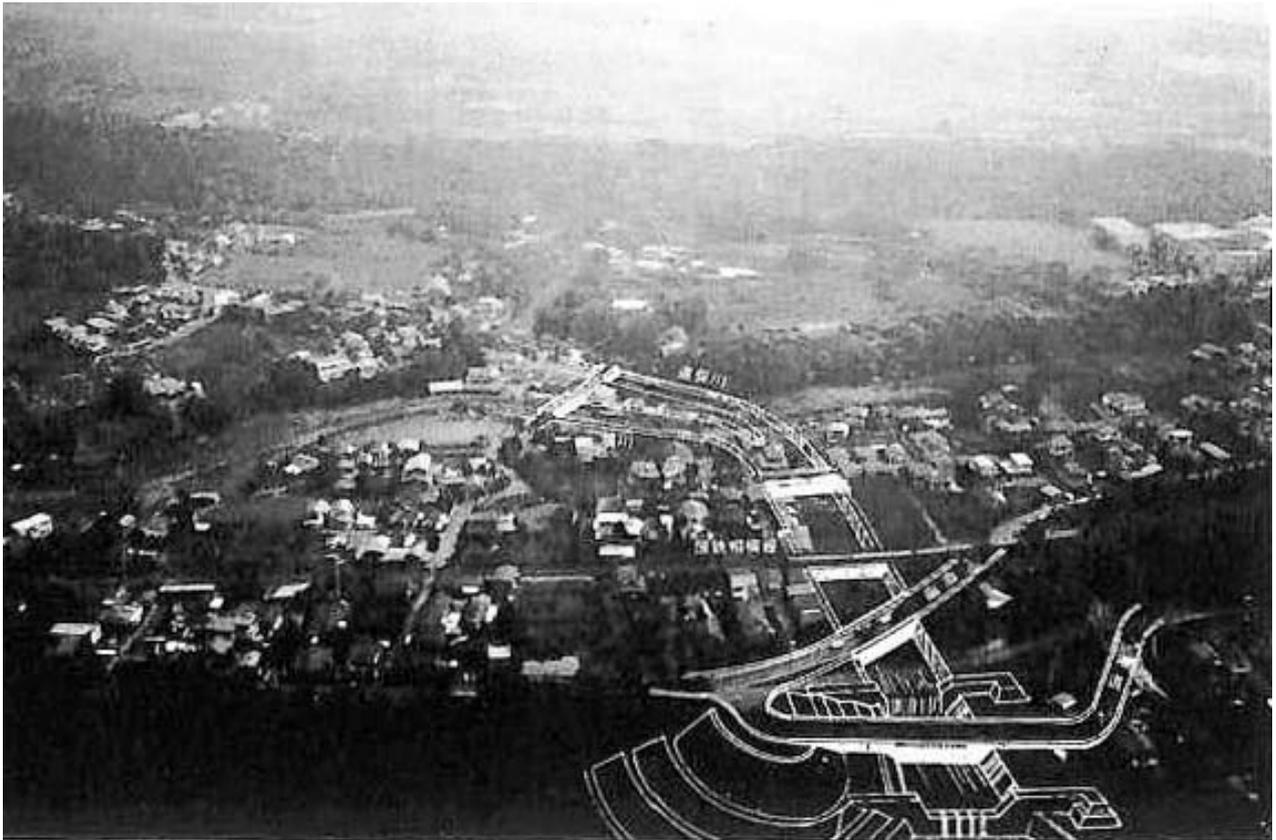
〔 I 〕 事業概要

鳩川は神奈川県の城山町から相模原市・座間市・海老名市の市街地を流れる典型的な都市河川である。上流部はかつては相模野と呼ばれる広大な台地で、畑や雑木林が点在した農耕的な色彩が強く、下流部は農業を中心とした豊かな田園地帯であったが、近年、急速な工業立地と宅地開発により流域の都市化が進んできている。特に、鳩川の上流域は相模原市の中心部を擁して鳩川流域の中でも市街化の傾向が著しい地域である。

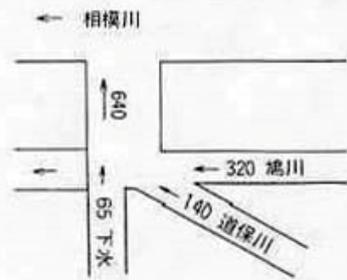
このため、鳩川上流部の洪水流出量が増大し、これに対処するため、治水施設の一部として昭和7年に農業用水路として建設された鳩川隧道を相模川への分水路として利用しているが、この施設の老朽化と流下能力の不足などの理由により、抜本的な治水対策が必要となってきた。

以上のような流域と河川の現状を抜本的に改善するため、既存の鳩川隧道直上流の位置に鳩川分水路を新たに建設し、分水路上流域の洪水流出量を全量カットし、相模川へ放流する分水路計画を定めた。

鳩川分水路付近航空写真



計画高水流量配分図 単位：m³/sec



〔Ⅱ〕 計画概要

1. 計画の諸元

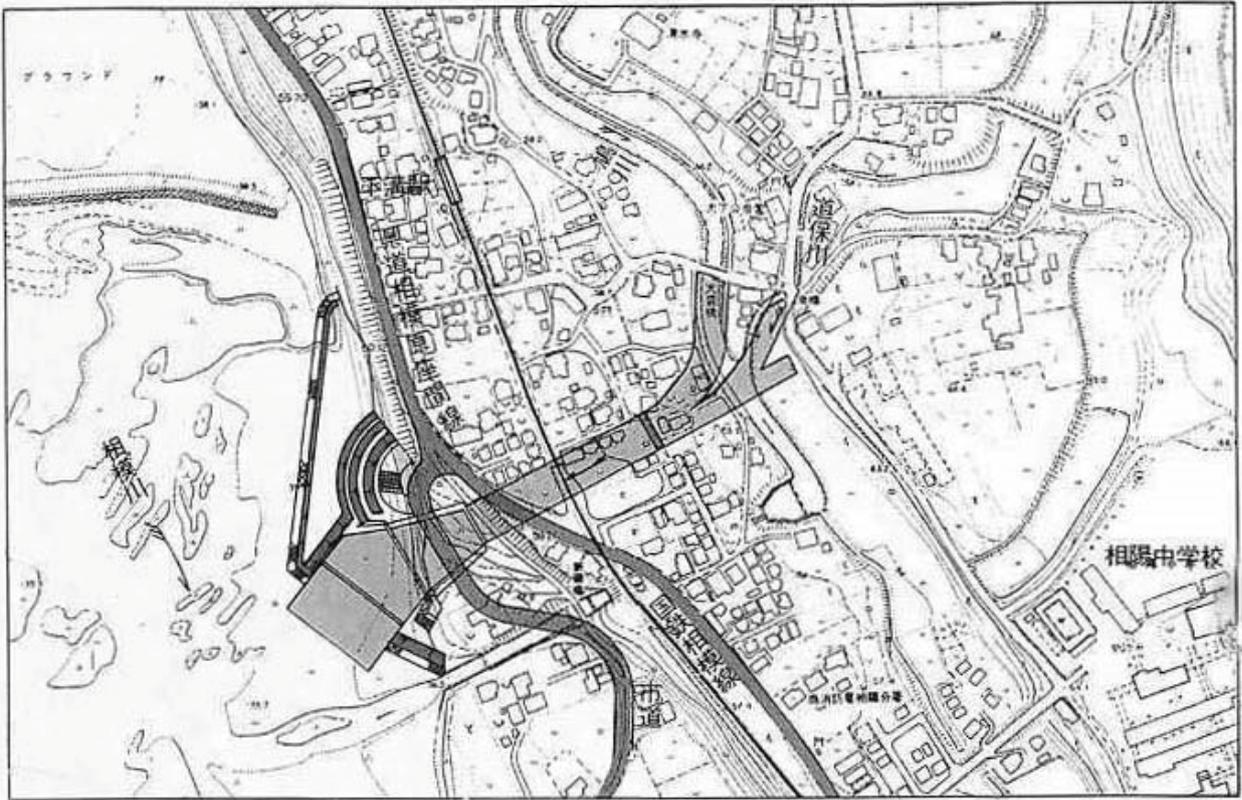
- (1) 分水路のカット方式: 全秋カット
- (2) 計画の規模: 50年確率(時間雨量82mm 対応)
- (3) 流域面積: 39.71 km²
- (4) 計画高水流量: 640 m³/sec

2. 計画施設

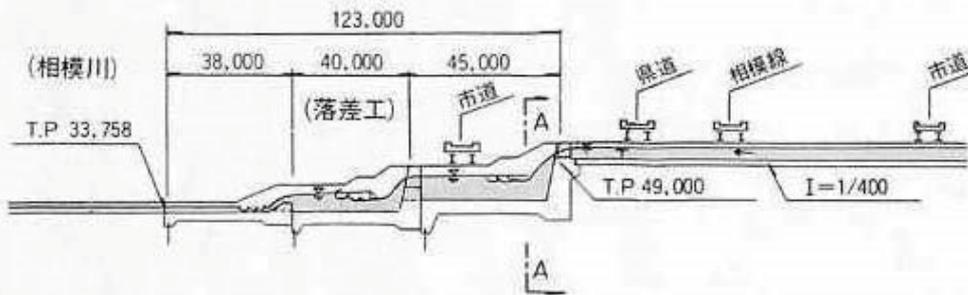
- (1) 位置: 神奈川県相模原市下溝及磯部地内

- (2) 延長: 約 300 m
- (3) 断面: 鉄筋コンクリート台形断面、計画堤防法線幅 25.0 m
- (4) 縦断勾配: 1/400
- (5) 高落差の処理: 相模原台地と相模川の高落差約 15 m の処理は 3 段落差工で処理する。

平面図 S=1/5,000

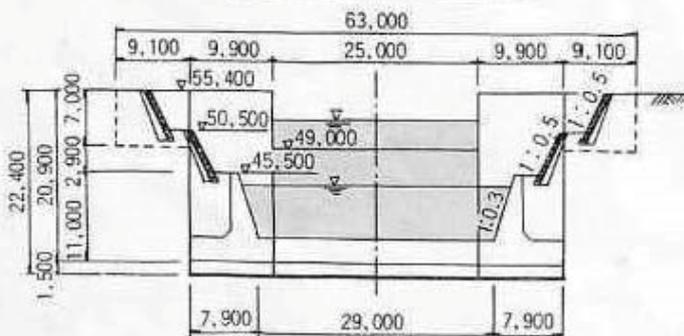


縦断図 S=1/2,500

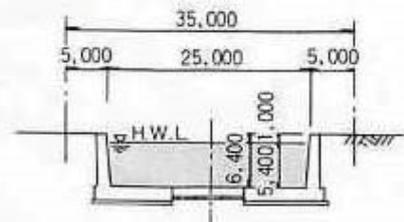


横断図 S=1/1,000

落差工 (断面A-A)



分水路標準断面



鳩川隧道分水路

名称 相模川左岸幹線用水路系統鳩川放水路

昭和6年度から昭和15年度にかけて行われた県営相模川左岸用排水改良事業(第一次改良)の一環として昭和6～7年度に築造した延長225m(隧道110m、閘渠145m)である。

昭和54年4月4日 鳩川分水路《一級河川の指定》

平成元年5月29日 鳩川隧道分水路(一級河川の指定を変更)……新しい分水路の築造に伴う名称変更である。

特記事項

鳩川隧道分水路は隧道出口直下流左岸より農業用水・消防水利(慣行水利権)として取水されているため、将来的にも必要な取水口となっている。なお、鳩川隧道分水路に流入している河川水は、新しい分水路の上堰にある「大盛橋」上流側左岸の取水口から、伏せ越しにより、内径600也のヒューム管で取水を行っている。

鳩川分水路の概要

[I] 事業の概要

鳩川は神奈川県西城山町から相模原市・座間市・海老名市の市街地を流れる典型的な都市河川である。上流部はかつては相模野と呼ばれる広大な台地で、畑や雑木林が点在した農耕的な色彩が強く、下流部は農業を中心とした豊かな田園地帯であったが、近年、急速な工業立地と宅地開発により流域の都市化が進んできている。特に鳩川の上流域は相模原市の中心部を擁して鳩川流域の中でも市街化の傾向が著しい地域である。

このため鳩川上流部の洪水流出量が増大し、これに対処するため、治水施設の一部として昭和7年に農業用水路として建設された鳩川隧道の相模川への分水路として利用しているがこの施設が老朽化と流下能力の不足などの理由により、抜本的な治水対策が必要となってきた。

以上のような流域と河川の現状を抜本的に改善するため既存の鳩川隧道直上流の位置に鳩川分水路を新たに建設し、分水路上流域の洪水流出量を全量カットし、相模川へ放流する分水路計画を定めた。

[II] 計画概要

- * 分水路カット方式：全量カット
- * 流域の規模：50年建立(時間雨量82mm対応)
- * 流域面積：市域に対して44%の流域を受ける面積約39.71km²

- * 整備手法：鳩川分水路改修事業 補助率＝国・県・市各 1/3 負担
S54 年度都市小河川事業採択
- * 計画高水流量：640 t/sec (旧鳩川放水路疎通能力約 90 t/sec)
 - 一級河川鳩川：計画規模の 10 年確立時間雨量 57 mm 対応
計画高水流量 640 t/sec
 - 一級河川道保川：計画規模の 30 年確立時間雨量 74 mm 対応
- * 整備延長：300 m 河川間：27.6 m
- * 整備断面：鉄筋コンクリート台形断面(三面張り)
 - 計画堤防法線幅：25.0 m 幅：20.1 m
 - 高さ：5.0 m + 余裕高：0.8 m
 - 管理通路：4.0 m + 3.5 m
- * 縦断勾配：1/400
- * 高低差の処理：相模原台地と相模川の高低差約 15 m の処理は、3 段落差工で処理
- * 総事業費：約 50 億円 (内 駅 用地取得費約 10 億円・工事費約 40 億円)
- * 事業実施期間：昭和 56 年 9 月着工～昭和 63 年 8 月完成 完成まで約 8 年間
- * 用地取得面積：約 10,000 m² 地権者 17 名 家屋移転 16 軒
- * 用地取得期間：昭和 56 年度～昭和 59 年度
- * 用地取得価格：96,000 円/m² @ 約 317,000 円/坪
- * 通称名：三段の滝 (旧鳩川分水路昭和 7 年に農業用水路として建設)